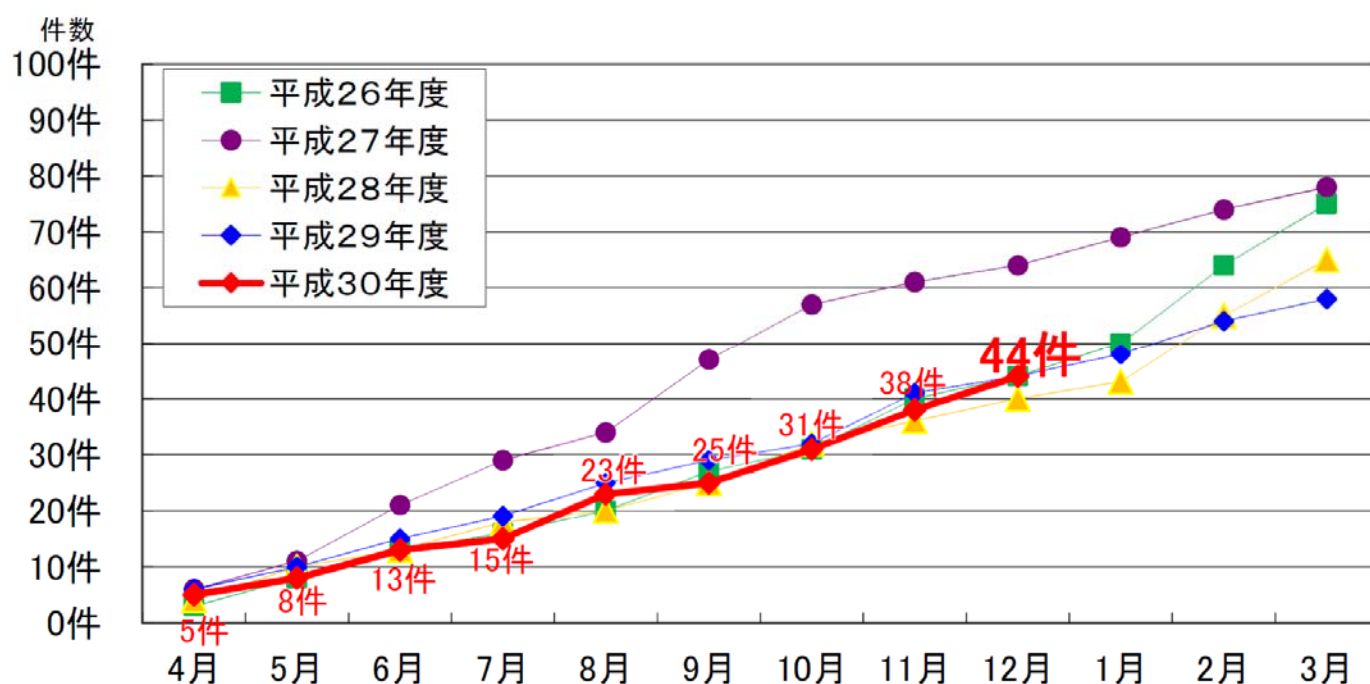


SAFETY SUPPORT NEWS

Contents

- 工事事故発生状況【12月事故発生件数（速報値）】
- 平成30年度工事事故防止強化月間＝安全パトロール実施結果＝
指摘事例No. 1～No. 5、模範事例

工事事故発生状況【12月事故発生件数（速報値）】



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成26年度 累計	3件	8件	13件	16件	20件	27件	31件	40件	44件	50件	64件	75件
(月毎)	(3件)	(5件)	(5件)	(3件)	(4件)	(7件)	(4件)	(9件)	(4件)	(6件)	(14件)	(11件)
平成27年度 累計	6件	11件	21件	29件	34件	47件	57件	61件	64件	69件	74件	78件
(月毎)	(6件)	(5件)	(10件)	(8件)	(5件)	(13件)	(10件)	(4件)	(3件)	(5件)	(5件)	(4件)
平成28年度 累計	4件	10件	13件	18件	20件	25件	32件	36件	40件	43件	54件	64件
(月毎)	(4件)	(6件)	(3件)	(5件)	(2件)	(5件)	(7件)	(4件)	(4件)	(3件)	(11件)	(10件)
平成29年度 累計	6件	10件	15件	19件	25件	29件	32件	42件	45件	49件	55件	58件
(月毎)	(6件)	(4件)	(5件)	(4件)	(6件)	(4件)	(3件)	(10件)	(3件)	(4件)	(6件)	(3件)
平成30年度 累計	5件	8件	13件	15件	23件	25件	31件	38件	44件			
(月毎)	(5件)	(3件)	(5件)	(2件)	(8件)	(2件)	(6件)	(7件)	(6件)			

Topics

- ◆直轄工事における12月の工事事故は**6件**発生し、うち2件は工事関係者が負傷する労働災害でした。
- ◆工事関係車両または工事関係者が運転する車と第三者車両の衝突事故に関する報告が増加しております。交通ルールの遵守徹底と安全走行について改めて注意喚起をお願いします。

関東地方整備局では、平成30年11月1日から30日までを「工事事故防止強化月間」とし、受発注者双方の安全意識高揚に向けた取り組みを実施致しました。本取り組みのうち、直轄工事現場において実施した安全パトロールの結果をご紹介します。



安全パトロール指摘事例 No.1

<架空線等上空施設に対する保安措置>

是正前



資材置き場出入り口上空の架空線に対する保安措置が不足



是正後



接触の危険がある架空線に防護措置を行うとともに、のぼり旗を設置し注意喚起

是正前



高所作業箇所付近の架空線に注意喚起措置が不足



是正後



注意喚起用のぼり旗を設置



のぼり旗による注意喚起に際しては、オペレーターをはじめとする作業関係者からの視認性も考慮して設置して下さい。

- ◆セーフティサポートニュースVol. 4でもお知らせしたとおり、今年度、架空線の損傷事故が多発しています。
- ◆架空線の損傷は近隣住民の生活に影響を及ぼすおそれもあり、見落としや失念、いけるだろうという“過信”が大きな被害を招きかねません。
- ◆防護管の設置、重機の高さ制限装置の活用、監視員の配置・誘導の徹底など、現場状況に応じた適切な安全管理をお願いします。



安全パトロール指摘事例 No.2

＜地下埋設物の損傷に対する注意措置＞

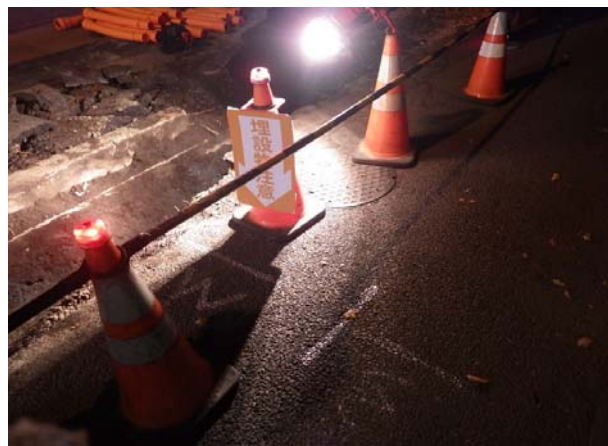
是正前



掘削箇所至近の埋設物に関する明示無し



是正後



カラーコーンに埋設物注意喚起表示取り付け、明示

是正前



掘削箇所至近の埋設物に関する明示無し



是正後



埋設物注意喚起表示を設置し、明示



のぼり旗による注意喚起に際しては、オペレーターや刃先監視員からの視認性も考慮して設置して下さい。

- ◆今年度 1 2 月末時点で地下埋設物損傷事故は **3 件** 発生しています。
- ◆うち 1 件は情報ボックス管路内の国交省管理ケーブル及び収容企業 5 社のケーブルを切断し多大な影響を与えています。
- ◆地下埋設物の損傷事故は、マーキングの失念や工事関係者への埋設物周知不足が原因で発生している事故が多くみられることから、事前確認の徹底、埋設物位置の明示及び作業関係者への周知徹底など、引き続き十分な安全管理をお願いします。



安全パトロール指摘事例 No.3

＜建設機械等の稼働に関連した人身事故に対する注意措置＞

是正前



運搬路と作業員の通路が分離されていないため、ダンプとの接触する危険性がある

是正後



作業員通路を区切り運搬路と分離

是正前



重機作業半径内への立ち入り禁止措置が不足

是正後



カラーコーン及びコーンバーで立ち入り禁止範囲を明示

是正前



仮置き場内の重機稼働範囲の明示が不足

是正後



カラーコーン及びコーンバーで立ち入り禁止範囲を明示

◆今年度12月末時点で建設機械の稼働に関連した事故は**3件**発生しています。

◆建設機械の稼働に際しては、関係法令の遵守徹底のほか、現場内における安全な作業員配置・機械誘導の徹底をお願いします。特に、狭隘な作業スペースでの建設機械と作業員の接触にご注意下さい。

Safety Support News Safety Support News Safety Support News Safety Support News



安全パトロール指摘事例 No.4

＜足場や作業員通路等に対する注意措置＞

是正前



床付け面に降りる為の昇降設備が不足



是正後



手すり付きの昇降設備を設置

是正前



法肩の転落防止対策が不足



是正後



単管で転落防止柵を設置

是正前



幅木の設置状況が不適切



是正後



固定措置を行い、適切に設置

◆例年、安全パトロールにおいて作業員の通路の不備や転倒・転落の危険箇所に関する是正指導結果が多く報告されています。

◆躓き転倒など、思わぬ労働災害を防ぐためにも適切な作業環境の整備・保持をお願いします。



安全パトロール指摘事例 No.5

＜その他事故に対する注意措置＞

是正前



作業足場が不安定なままでの重機作業

是正後



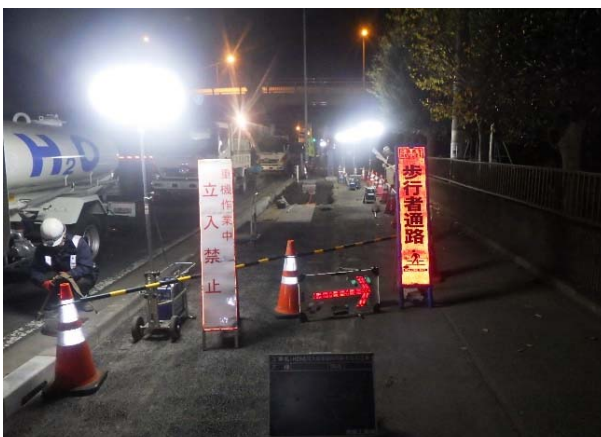
重機作業足場が安定するよう整地

是正前



夜間作業時における歩道規制看板の視認性不良

是正後



バルーンライトの位置を変更し、規制看板の視認性を改善

是正前



引火物に対する消火設備の不備

是正後



消火器を設置

◆重機の転倒・転落による事故は重大事故につながるおそれが高いにも関わらず、今年度も**2件**発生している状況です。適切な重機足場の整備や路肩付近での作業の禁止など、関係法令の遵守徹底をお願いします。



安全パトロール模範事例

本事例は、安全パトロールにおいて確認された安全管理における受注者の工夫事例を参考に紹介しています。固有の商品の使用や実施を強制するものではありません。

第三者への注意喚起



外国人観光客が多い地域における
路上規制時の多言語標示

第三者への注意喚起



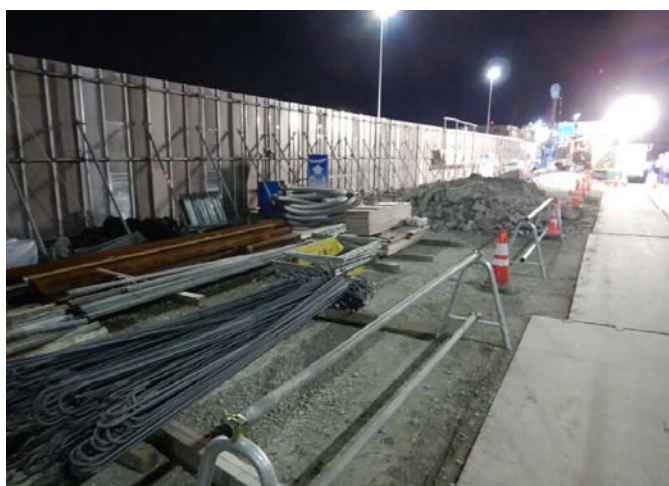
センサー式の音声案内を取り付け、
歩行者・自転車に対して注意喚起

安全通路の確保



安全通路の段差をブロックで擦り付け

現場内の整理整頓



限られたスペースの中で資材置場や廃材置場
を整理整頓

工事用車両との接触防止



作業員用通路と工事用車両通路を分離し、
横断箇所手前に車両の一時停止標示を設置

このほか、受注者による現場の
安全管理に対する工夫事例や、
安全教育に関する取り組み事例
は、次号ご紹介する予定です。